

2019年10月号へのご意見

探究学習の本来の目的を見つめ直した

10月号の特集は、探究学習における教師の役割に焦点をあてた内容で、すべての教師にとって有意義な記事だった。東京都・私立かえつ有明中・高校の記事にあったように、教師の価値観を生徒に押しつけるのではなく、「聴くことが大事」という考え方に大変共感した。時間が限られるため、生徒の学びのプロセスより、形にすることを優先して指導しそうになってしまう時がある。記事を読み、探究学習の本来の目的を見つめることができた。

山形県立米沢東高校 高橋英路

探究学習の実践に向けて役立つ記事

10月号の特集を読み、教師主導ではなく、生徒の考える機会を奪わない取り組みには、我慢が大切だと感じた。兵庫県立加古川東高校の取り組みでは、指導案作成による教師の負担軽減、役割を与えることによる生徒の主体性や自己肯定感の向上など、参考になることが多かった。探究学習お役立ち文献&ウェブサイトは、他の教員と情報共有したいと思った。

静岡県・沼津市立沼津高校 谷野公彦

まずは自分の授業改革から

「The OECD Learning Compass 2030」(*1)の中でも、「Transformative Competencies (よりよい未来の創造に向けた変革を起こす力)」は、探究学習で育成を目指す資質・能力と合致すると感じ、AARサイク

ル(*2)をいかに授業に取り入れるかが、キーワードになると感じた。先日、福島県立ふたば未来学園中学校・高校を訪問し、公立学校でも生徒の探究学習を中心とした教育活動ができると分かった。まずは自分の授業から改革していきたい。

東京都立羽村高校 久富悠生

教科の枠を超えた活動の工夫を学んだ

本校では、情報科の授業を3人のチーム・ティーチングとし、家庭科や体育科など様々な教師が担当している。10月号の「実践 アクティブ・ラーニング」の情報科の授業では、他教科とつながりが多いという教科特性を生かして、教科の枠を超えた活動や思考を深める発問をしている工夫が参考になった。

徳島県 匿名希望

若手教師を学校改革の原動力に

10月号「指導変革の軌跡」の静岡県立焼津中央高校の記事では、意欲的な若手教師が学校を動かしていく様子がよく分かった。トップダウンとせず、まず若手教師の意見を組み入れるという考えが勉強になった。

栃木県立真岡工業高校 半田高史

よい言葉は受け継がれる

10月号「教師を育てた言葉たち」で紹介された「雲上蒼天」が、様々な形で受け継がれていることに感動した。気持ちばかりが先走らないように、生徒と向き合っていきたいと思った。

山形県 匿名希望

OFF SHOT



今号の『学校教育デザイン』を描く道標の取材で訪れた東京都・私立山崎学園富士見中学高校は、図書館がとても斬新でした。その名は「Learning Hub」、2018年の完成です。フロアは2階に分かれていて、下の階はアクティブ・ラーニングに合う可動式の机や椅子があり、生徒は探究学習や学び合いで活用しています。上の階はあちこちに椅子があり、どこに座っても、離れた椅子に座った生徒との視線がずれる工夫が施されていて、読書をしやすい環境がつけられているのだそうです。司書教諭の宗愛子先生は、この図書館の設計段階からかわり、「自分の思いを反映した学びの場にした」と言われていました。そして、「読書会」や「ビブリオバトル」などの様々な図書館活用策も実施してきたとのこと。自分が高校時代に利用した図書館と比較して、大きな進化と今後の可能性を感じました。(広瀬)

『VIEW21』高校版 公式アカウント

LINE@

友だち募集中!

『VIEW21』高校版や教育に関連する最新情報をタイムリーにお届けします。*お友だちの登録方法は、右の2次元バーコードを読み取っていただくか、LINEアプリの「友だち追加」>「ID検索」で「@view21」とご入力いただき、追加をお願いいたします。



VIEW21 高校版 2020 2 月号

次号は2月14日発行(予定)

『VIEW21』高校版は年6回の発行です

*1 よりよい社会を実現するために求められる学びの枠組みとして、OECDが策定した。

*2 「The OECD Learning Compass 2030」を育む学習過程として、「Anticipation」(見通し)、「Action」(行動)、「Reflection」(振り返り)から成るサイクルのこと。